婦人の友

發行所
和歌山市小松原通一丁目
和歌山縣企畫廣報課
編集印刷 杉本珍巳
發行人
印刷所 和歌山県印刷所
旬刊1日・11日・21日發行
定価一部2円50錢

和歌山競輪
11月 7 8 9 10 11 12
（金）（土）（日）（月）（土）（日）
待望久し
新装再開

子供の爲に よい委員を！

忘るな十日こぞって投票

十一月十日には教育委員の半數（三名）が改選せられます。

教育行政は皆様方により選び出された代表者により運營されますよい學校を作り設備を完備して子供達がよい環境の下に教育を受けられるようするには立派な委員を選び出さねばなりません。

今回改選される三名に対し四名の候補者が名のりを擧げています。顔役の言葉に左右されたり、金錢で依頼されて投票するということなく、皆様方の正しい判断により、本当に教育に熱意を持つている人々を、子供達の爲に選びましょう。

投票日は十一月十日です。一人も棄権することなく投票に行きましょう。

立候補者氏名、略歴は次の通りです。

県教育委員立候補者一覧

阿部源三郎 六一才
無所属 会社員
本籍 山形県
住所 和歌山市西町貫町

北 一夫 四六才
無所属 農業
本籍、住所 那賀郡粟門村

楠本円一郎 五一才
無所属 西紀水工株式会社取締役
本籍、住所 田辺市

高山與四郎 四三才
日本共産党 無職

追加豫算一億五千万圓

十一月定例県議会は十一月四日から開かれ追加予算一億五千四百余万円と十条例が提案される。

条例には和歌山県漁具類行商營業条例といおう漁屋さんをするには知事の認可を得なければならないものや毒工品検査条例という縄等は一定規格の検査を受けねばならない等の十の条例が審議される。

追加予算は県營野球場建設の二千万円や耕地の災害復旧（過年度を含む）四千二百万と南部町の排水工事及東牟婁郡太田川小匠ダム（濁池）等土地改良事業九百万円、観光地百選のハガキ代等四百万円、土木施設の二四年災害復旧二千八百万円等で教育費には教員認定講習旅費及一般旅費で一千七百五十万円等で総額一五四、六九五、〇〇〇となる。之等の財源には本衡交付金、繰越金、過年度收入等が充てられている。

これで二千五年度歳出入総額は四十一億百六十万円余となる。

總合開發審議會發足す

十月三十日和歌山県総合開發審議会が運かい開發した。本県は天然資源に関する限り決して乏しい県とは云えず、科学的に細下げ総合的な計画により百年の大計として為すべき事業は眞に多い。本年五月国土総合開發法の制定とともに全国にさきがけて右審議会の誕生となつた。委員も各界の第一人者で初顔合せながら誠に活發な意見の發表や討議に終始した。会長に内田県会議長、副会長に松本元代議士を選任、当局案を審議し本県総合開發の基本方針として（一）道路の開發（二）水力の開發（三）国土の保全（四）観光（五）産業の振興の五大方針を定め先づ農林、水産、交通運輸、経済の三部会を置くことになつた。この審議会で決定する計画は中央総合開發審議会にかけられ従来は各省まちまちの施策が同法により内閣で一本にその総合調整がなされる訳である。

県に於ては企画広報課が出来て従来各課に於てまちまちに実施されたこれ等の事業の総合調整が行われることになり先ずその第一歩としてこの審議会の發足を見た訳である。

道路、電源の開發等 五大方針

審議会における知事挨拶要旨は左の通りである。

知事挨拶 懸案の問題を強力実現

私、知事に就任以来産業開發という点に早くから着目致しまして水産業の開發、林業開發、道路開發と各部門に亘りまして努力致して参りましたが、何と申しましても終戦後の社会状勢は県政の大部分を貪欲対策に向けねばならない実情にあり、御くその食糧問題が解決した時には災害に次ぐ災害に追われましてその暇が無かつたわけであります。

本年五月国土総合開發法が出来ましてから中央政府は政府で、各地方都道府県は部道府県で各々総合開發審議会を持たねばならないことになり本審議会の發足を見た次第であります。

この機会に、これまで絶えず考えながら実現し得なかつたことを実現し得られることになりましたことは本快とするところであります。何と申しましても県の根本政策を樹立することであり、非常に重要性を有しますのでその委員の選衡に当りましては慎重を期しまして、各界各層を網羅しまして誠実の尽まいなる方々を選定致しました次第であります。

委員各位にはこの点を充分お含みの上、百万県民更生のために、それ以上将来の和歌山県百年の大計樹立のために充分なるお骨折りを願いたいと考えます。

委員の顔ぶれ

委員には夫々各方面の権威者が網羅されて居り、学識経験者二十二名、県議会各部常任委員長八名、市町村代表三名、県側は副知事と土木、農林、農地、経済各部長で計三十九名の委員からなつている。学識経験者として委嘱された人々は

土建業中村広男、農産会々長小谷純一、農調農地委員小川熊次郎、林業家多屋本夫、神田清右衛門、海運業一、西部漁連会長和田鶴一、元県議成川書太郎、県織物工組理事長木綿房千代、和歌社長瀬川芳助、商工会議所副会頭大瀬文左衛門、元代議士松本眞一、紀陽銀行頭取山田虎次郎、日銀出張所長吉田亮平、関配支店長内田幸夫、和歌山鳥獣事務村松幸円、道路運送事業員石井格一、新宮貨物社長植松新二、和歌山機帆船取締役森田清一、観光協会副会長上田芳伊、和阪運輸事業沢井政治、搭道連阪連輸連会長醍田照清の諸氏である。

時評 朝鮮動亂と經濟の安定

朝鮮動乱のぼつ発以来、日本は朝鮮の国連軍に対し多数の必要物資を供給して来た。経済安定本部の報告によると戦乱第一ケ月の間に鉄鋼、非鉄金属、自動車、車輛、化学製品、繊維製品等の重要物資を約三千万ドル供給したという。日本はこれら供給品の輸出により、原料品及び食糧の輸入額を増加することが出来た。これが金額は七月―九月の四半期に於て前期の輸入計画の二倍に当る数字があげられているほどであるから、朝鮮動乱により生じたわが国経済に対する特需を相殺してなお余りがあり、物資退蔵、或は暴利、物価の暴騰となるべき何らの理由もないはずである。

しかるにある種の商品、特に織維製品及び非鉄金属に退蔵、売買や一部不当な価格の引上げが伝えられているのはどうしたわけか。従来わが国には「戦争成金」なる語があり、国家が存亡の危機に立つとき独り己が私腹を肥やし、或は友邦の戦乱に便乗して財を築く徒輩の多かつたことは事実であり、この「戦争成金」を夢見る思想が今日の日本経済安定の波を乱していることは疑えない。

かゝる不当な暴行を防止するために政府は物価統制令、臨時物資需給調整令その他の適用法令を施行して不当な価格暴騰を示した物資にはその緊急度に応じて訂正手段が取られている。

この際政府が更に一歩を進めて経済統制を更新するか否かは、一般消費者が暴利に抗して退蔵を避ける能力如何に依るものである。当座の必要以上に買溜する消費者は、すべての消費者、買手が避けたいと望んでいる経済統制の再来を招いているのである。

現在わが国に於ける主要食糧の在庫高は引き続いて戦後の最大量を保持し、著しく緩和された食糧事情は現在の水準を維持されている。この際闇市場に於て、米の闇取引を行う一般消費者は正規のルートを踏んで得られる米の量を減少させ、所謂ヤミ相場の高騰を助長しているわけで、かくては我と自らの首を締める結果に他ならないわけである。

又米に次ぐ必需品たる綿製品について見ても、現在の原棉在庫量は次の四半期間を持ちこたえるに十分なるものがあるのである。大量に綿製品を退蔵しつゝある投機的商人は勿論、小にしてたとえ小量にもしろ買溜めする一般消費者の行動は経済統制を再び行おうとする政府の観念を助長する以外何ものでもなく、大きく「国賊」呼ばわりをされても文句のないことを銘記しなければならない。

知事 談話 新地方自治確立運動 実施にあたつて

民主国家確立の根幹である地方自治に関しましては、昭和二十二年四月地方自治法が制定せられ、その後数次にわたる改正があり、又シャウプ勧告による地方税制の改正が最近行われ、おゝむね、その体制の整備を見たのであります。即ち地方公共団体の自主、自律性の強化、住民自治の実現、行政執行の能率化と公正の確保、地方分権の確立等劃期的な制度の改革をもたらしたのであります。しかしながら地方自治の運営の実情を見ますと、必ずしも所期の成果を擧げているとはいへないのであります。例えば、地方公共団体における議決機関と執行機関の均衡と調整に、或いは直接請求制度の濫用等又教育法、学校教育法、教育委員会法、農地調整法、食糧確保臨時措置法など、各種関係法規の総合運営に深い創意と工夫が必要とされ、その他地方自治体における各種の紛争、さらにまた地方自治の興隆を決する地方財政の確立の問題等幾多の難関があつたのであります。

もちろん、われわれは地方自治が一朝一夕にして成るものとは思われないのであり、幾多の苦難をこえて、はじめて自治の確立が生れると思うのであります。

今後におきましても、地方分権の確立のため、現在の国の事務と県・市町村の事務が再配分され、模の合理化、地方公務員制度の確立、地方財政の確立等が重要な問題となるのでありますが、この難関を切り抜けるためには、行政当局は勿論、県民の皆様の自治に関する認識により自治能力を飛躍することがもつとも重要なことであります。

今回十一月中を新地方自治確立運動の期間として同運動を展開し、自治に関する講演会、講習会、その他の催しによりまして、県民の地方自治に対する認識を深め、新日本建設の基礎としての真の地方自治を確立し民主国家の確立に努力することゝなりました。

行政当局は勿論、各種団体、特に県民の皆様のこの運動に御協力されることをお願いする次第であります。

麥類一割增産運動展開

二十六年産麦類は政府の食糧一割増産運動実施要綱に基いて、県内食糧の自給度を最大限に高めるとともに農家経済の安定を図るため一割増産運動が実施される二十六年度の生産目標は

二九四、九九〇石で

（反当一、五五八）

具体的方策として作付面積の確保や技術面として品種の選択、種子の消毒、病害虫の防除、肥料の合理的施用等が計画されている。

郡市別計画生産目標は左の通り

和歌山市	二〇、五八七石
新宮市	九九四
海南市	一、一八一
田辺市	一、六三一
海草郡	四六、七三八
那賀郡	七四、一三〇
伊都郡	三五、七七九
有田郡	三三、四四八
日高郡	四六、一九七
西牟婁郡	二六、八五四
東牟婁郡	七、四五一
計	二九四、九九〇

麥の一割增產 秘訣は種子の消毒から

麦の一割増産運動の一つとして黒穂病、斑葉病等の種子伝染病を絶滅するため麦類の共同種子消毒が実施されます。県では計画に基き市町村に薬剤を分配しておき、町村長が共同消毒実施日を定めて部落毎に実施します。

消毒方法は風呂湯浸法とウスブルン消毒と併せ行います。

（イ）ウスブルン消毒―ウスブルン一瓶（百匁）をぬるま湯又は水に溶かし五斗六升の水にうすめ千倍液を作り三〇分内外浸す。風呂湯浸より先に実施。

（ロ）風呂湯浸法―播種前夜九時頃入浴後の廃水を摂氏四十六度に温め完全に火を消して種子を浸す。蓋は一寸位すかし翌朝七時頃取出す。

交通安全週間

11月1日――7日

危険防止は先ずお互の自覚から

○あなたは道路の右端を通つておりますか。

○歩道を歩いていますか。

○三人も四人も横に並んで歩いていませんか。

○あなたは夜間自転車に火をつけて走つていますか。

○せまい道から広い道に出る時一旦とまつて左右をよく注意していますか。

県政日誌

9.21→10.20

九・二六 岡山関務相来県災害視察、漁業調整委員会

九・三〇 九月定例県議会開会

一〇・五 食糧増産協議会、戦災復興土地区劃整理委員会

一〇・一〇 慶祝委員会

一〇・一二 二十六年度産麦郡市別生産計画目標決定

一〇・一三 紀北漁区漁業調整委員会運營懇談会

一〇・一六 市、地方事務所長会議

一〇・一八 狂犬病予防法打合会

一〇・一九 食糧公団故紀に関する郡市経済課長会議

一〇・二〇 食生活を語る座談会

南紀北信

▲「県庁の仕事はあんまりシミで見ちゃ居れぬ。もつとハデにやれ」という苦笑が廻りに聞える。▲「災害の時でもセメテ対策本部の看板をデンと玄関前に貼出し、机は玄関前に並べ、これ見ろという風にやつて欲しかつた」▲「市役所を見給え。玄関前の広場で救物品を配分して市民を喜ばせていた」▲御忠言は身にしみて有り難い。全く恐縮の至り。▲政治の要諦は民衆の心をつかむ点に在るのだという見方からすれば確に一面の真理にちがいない。▲だがこの事は必ずしも県従来の行政方式を百八十度転回せよということにはならない。▲元来県庁は国と市町村との中間に立つシミな機関で、毎日の仕事にしても極めてメタ々々ものが多いというのがその特長の一つでもある。▲災害対策本部を開設するにしても県庁以外に置く筈はないのだから今更看板を表玄関に掲げるのもどうかと思う。單に庁内で部屋を明示するに止めるのが良いのではなかろうか。▲処がこれが市町村役場となると又立場がちがつて来る。出来るだけ民衆を安心させる様に救災品の分配などなるべく自に立つ所で公正にハデにやつてもらいたい。▲県庁としては出来るだけ無速に全県下の被害状況を調べ上げ、之によつて政府や大商店などに交渉して資材現品を入手し機敏にこれを災害市町村役場へ送り届ける迄での役目を果さなければならぬのだ。▲こんな場合県庁の者が好機至れりと宣伝に浮身をやつす様では御役には立つまい。▲縁の下でクモの巣をかぶりながら懸命に「影の舞」をするという処に県庁本来の使命があるという点にも篤と御目をとめてもらいたい。（M）

議会手帖 豫約受付
申込期限 十一月二十日迄
申込先 県議会事務局
2年版 6価 格 実費一七〇円
裏帯内容前年と同じ

秋風が一入身に沁みて覚ゆる頃秋祭の騒ぎも落着き田舎も街もしんしんと更けゆく夜はしきりに読書慾をそゝるものです。

朝鮮動乱もどうやら落ちついて講和会議も実現の気運が見え、台風の被害があつたとはいえ、この秋は一応の落着を見せてくれました。

このときに平和な読書週間を持ち得たことを私達は先づ感謝する必要がありますまいか。

十月二十七日から十一月九日迄二週間

今年の読書週間が全国的に実施されています。

今年は図書館法の実施にともない図書館の充実と一般の利用の両面が取り上げられます図書館は即文化の中心ともいえましょう、公民館の図書館も村の文化の中心として大いに活用されねばなりません。それには先づ私達県民が関心を深め、利用に努め不備な点は当局に要望してよりよき図書館、図書室とすることが大切でありましょう。

読書週間

10.27日から二週間

親しまれ易い圖書館に

皆さん新しい図書館法を御存じですか。

新しい図書館法が本年の四月三十日法律第一一八号として制定され七月末から実施されています。

では今迄こんな法律がなかつたのでしょうか。図書館令と言う昭和八年制定の勅令がありましたがこれは新しい時代に適しないので、改めて制定されたのです。

新しい図書館法はアメリカの制度を参考として作られていて、民衆へのサービスということが強調されています。

圖書館の目的として

①教育　②情報の提供　③美術鑑賞　④調査研究　⑤レクリエーションの五つがかゝげられています。（第二条）

今までの図書館では大体①②④位が行われ、それも調査研究が主として行われていたのですが新しい図書館は美術鑑賞やレクリエーション迄やるようになつています。これがいわゆるライブラリー・サービス（図書館奉仕）のあらわれで一般公衆に広く利用されるよう工夫される訳です。今迄は極く一部の人々にしか利用されなかつたのを誰でも気軽に利用出来るようされねばならないのです。そのため郷土の行政の資料から美術品、レコード、フィルム迄あつめて保存し、レコード鑑賞や美術鑑賞、影画の鑑賞迄図書館でやろうという訳です。図書の内容としても一般民衆に多く読まれるよう、小説類等も備え付けるのです。

又図書館の選い人の為に、分館を設けたり、巡回貸出文庫、移動文庫（自動車文庫）等により広く一般の人々に利用されるよう努めるべきことが規程されています。

又公立図書館は入館料や資料を利用したことに対する手数料、使用料の知きものを徴収してはならないことも規定されています。

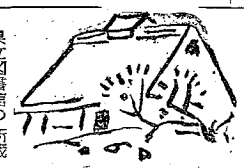
県には県立図書館が和歌山市の公園内にあり、又和歌山市にはC・I・E（民間情報教育）の図書館が市役所内にあります。その他市・町村の公民館等にも図書館、室が設けられて居り皆様の利用をお待ちしています。読書の秋、大いに活用しようではありませんか。

ライブラリーサービスとは

新しい圖書館法

貸出文庫の活動狀況

―和歌山県立圖書館―



県立図書館の所蔵している本を、県下の諸君に利用して貰うために、本館では貸出文庫というものを作つてある。

その機構はいろいろの種類の本を取りまぜて十冊を一組として、一ケ所に一ケ月間の期間で貸出しをする。貸出先きは団体で、もちろん無料である。市内乃至近くの町村ならば団体の方から図書館へ借りに来られてもよいが、本館としては各郡毎に三ケ所のブックセンターをおき、一センターに対しては四組の巡回文庫を送ることにしている。ブックセンターの附近の町村の団体はその図書を利用されんことを望む。

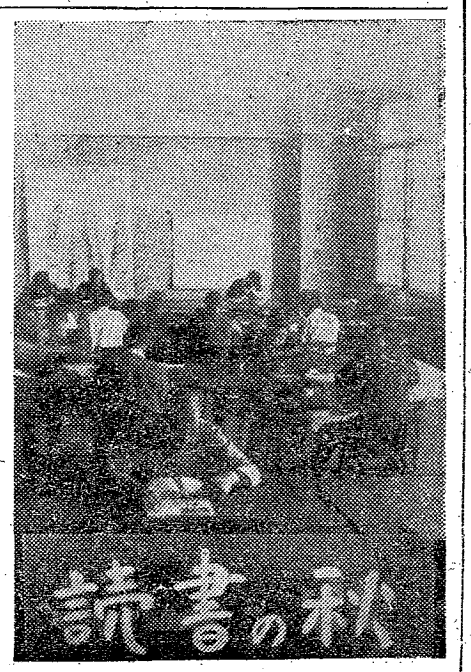
ブックセンター指定公民館

郡別	公民館名
伊都	大谷村公民館
〃	高野口公民館
〃	隅田村公民館
那賀	上岩出村公民館
〃	田中村公民館
〃	麻生津村公民館
〃	海草 東野上町公民館
〃	下津町公民館
〃	安原村公民館
日高	御坊町立図書館
〃	南部町公民館
〃	竜神村公民館
西牟婁	田辺市立図書館
〃	栗栖川村公民館
〃	田辺村公民館
東牟婁	新宮市立図書館
〃	勝浦町公民館
〃	西向町公民館
〃	本宮村公民館
有田	宮原村公民館
〃	湯浅町立図書館
〃	鳥屋城村公民館

良書普及運動

今秋の読書週間を機会に「良書普及運動」が日本図書館協会等の主催で

今迄図書選定委員会により良書の選定、推せんが行われて来たがこれを更に拡充し、普及面に於ても出版社、読者の便宜を図ろうというもので、要領は一般教養書を



（てに館書圖縣立県は眞寫）

わしがむらのしんぶん

公民館報の作り方

町村の潤滑油となつてまさつのないようにするためにも、又日がな一日働いて疲れた体に一杯の清りよう剤を提供するためにも、むらのしんぶんの持つ役割は極めて大きいと云えましょう。県下でも進んだ公民館では続々と館報（むらのしんぶん）を発行して活潑に動いていますが、すでにその数は三十を超え、池田のごときはもう三十二号を出しています。編集者はみなアマチュアですがなかなかセンスが鋭くて、絶えず新鮮味があり、興味のもてるものにしようと真剣にとりくんでおられます。

金がないからとか、原稿が集るかどうか、続くかどうかと迷つておられる方々もありましょうが、一旦すべり出すと案ずるより産むがやすいもので、後はどんどん進んで行くのです。

係者のために二三気付いた点を記してみたいと思います。

○金の工面は

最初から予算をとつて堂々とすべり出せればそれにこしたことはありませんがなかなかそこまで生長していない公民館では先づ謄写刷りから始めて下さい。やがて世論の支持を得て印刷となり各戸から購読料を得たり広告をとりに廻つていたのがその公共性が認められ、町村の予算となつて全戸に無料で配布出来るようになりましょう。県下でも一戸一枚づゝもれなく配布しているのが十六ケ所、ほとんど全部が無料となつています。その間の編集者の御苦労は察するに余りありましようが、たゞこゝで心配なのは予算化されて軌道に乗つてしまうと安易に流れ、固苦しいものとなり民衆と離れてしまつても相変らず我不関焉で進むことです。

○編集は町村民の手で

館報は町村のものでありますから内容は全住民の意向を反映せねばなりません。一人の編集者の個人的なにおいが強く出ずぎるのは避けたいものです。そのために各方面の人々を集めて編集委員会を作り毎月編集会議を持つたり（山崎、色川、調月、妙寺、下津、宇久井）又学校、青年団、婦人会、協同組合等に夫々担当者を定め定期的に記事の提供を受けたり（西富田、田原、鮎川、上芳養、南広）して出来るだけ衆智を持ちより、又持々館報についての希望を世論調査して、絶えず全体への奉仕を忘れないように考へたいものです。

縣下の公民館報

○紙面は明るく親しみ易く

日々の新聞には親子心中、窃盗強盗、選挙違反等社会の暗い面がほとんどのスペースをとつていますが、むらのしんぶんは出来るだけ明るい建設的なほゝえましい記事がもり沢山で、一町村だんらんの中心でありたいものです。たゞ集まつた記事をそのまゝに時にむつかしい専門的な記事を一杯につめこんでしまつては、二寸見ただけでよむ気も起らないでしよう。組み方についてもカット一つでもいつも読まれる人の気になつてほしいものです。お目出度通信、御不幸通信（麻生津）を入れて大変よろこばれたり、ユーモアに富むもの（田原）産業に関するもの（鹽屋）すゞ間にあるもの（鮎川）肩のこらないもの（西貴志）婦人面目な研究（上芳養）各部落の自慢話（色川）郷土史（麻生津）村内めぐり（南広）等いづれにしてもかみしもをぬぎ捨てゝとく気楽に語り合う気持ちが第一です。

○村づくりのちから

たゞこゝで編集者としては読者に迎合するだけでなく、現実の世の動きをよくみきわめつゝ、高い理想を常にかゝげることが大切です。こゝが三文新聞と館報の大きな差のつくところでしよう。公民館自体が町村の地下水のような存在ですが、そこから出される新聞も新しい町や村を創り出して行くだけの見識をもつていたゞきたいものです。かえつてそれが編集者の心配以上に歓迎され（妙寺）大きな支持を得るものです。

○手をとりあつて

公民館もすでに全町村の九割に設置をみ、すくすくと伸びていますが、主観的なドグマに陥らぬためにも、お互に手をとり合つて進みたいものです。特にそれぞれの各組織体の中央機関を通じてそれぞれの読書施設及び関係者に特売する。

選定された図書群（セット）は全国各地で展示会を開き申込を受付けることになつている。

雜誌のあれこれ

紙の消費量は文化のバロメーター

雜誌は数はどれだけあるのでしようか。

今用紙の割当を受けている主要雜誌についてみますと終戦後ドット出雜誌も逐次整理され全体的に見ると少くなつています。

二十二年	約一、八〇〇誌
二十四年	約一、五〇〇誌
二十五年	約一、一〇〇誌

然し内容の方は充実して来て、用紙の所要量は最近ウンと増しているようです。例えば最近の例で見ますと十月一十二月の用紙割当量は雜誌も含め総量三千万ポンドで四一六月に比べると二倍以上の増加であります。

雜誌はどのようなものが多いでしようか。これは実際ではなく割当部数になりますが

総合雜誌では文芸春秋三〇万、中央公論と改造一五万、文芸雜誌では新潮八万、人間と群像五万、文学界、芸術新潮が三万、大衆雜誌では平凡四〇万、キング三五万婦人雜誌では主婦の友、婦人倶楽部、主婦と生活、婦人生活が同じ五〇万、スタイル二八万の割当となつています。（十一十二月分）広報課

自ら樂しめる作品を

教養への道は世界文學の研究

進村喜多

事　門的に本を読むのは別として「読書」と世間で言われている内容を推し測つてみると、大部分は文学書であると思う。その文学書のなかでも、恐らく小説が第一位を占めるだろう。ところで一体どんな小説が多く読まれているだろうか。またどんな小説を読むべきだろうか。問題がそこにあると思う。

谷　喧嘩一郎の「細雪」は昨年度からベストセラーとして満天下の読書子の心をかき立てたものだ。「細雪」はまことに文豪の手になつた一級品として推奨するに足るものかも知れない。だけど、あの関西なまりの会話でふん囲気をかもし出している。中流よりも寧ろ上流に近い上方しんの旧家にひらけている世界、新しいものと、旧いものとが不思議に混合して浮動している世界、しかもその背後にたち切ることのできない日本の過去につながつている「家」の世界、そういう世界に入つて行き、そこに人生をつかみ得なければ、所詮あの作品の味ひは出ないのである。だから罪なる評判のために、たとえば「細雪」を読まねば人後におちるというような変な虚栄心などによつて、決して読まるべきものではない。この例をもう一つ「チャタレー夫人」にとる。「チャタレー夫人」が猥褻になつてから猫も、杓子も大騒ぎをするのはあまりみつともいゝ話では無い。少くもローレンスの文学の在り方を会得した上で「チャタレー夫人」はしみじみと読むべきであろう。要するに、世間の評判を第一とすることなく、自分の求めるものに合致する作品、そして自ら楽しめる作品、又自分の人生の何かの裏付になるような作品を選んで読むべきであると思う。いたずらに評判があまりに高いからとのことで、真にその作品のよさをつかまず、たゞ話題にするもない。

西　洋の近代小説の飜訳は仲々難んで、文字通りこうもり水の感がする。どれがよいのかわるいのか、私は敢て言わない。読者は自分の要求に合致するものを選ぶがよい。近代小説にはもちろんそれぞれの特質はあるが、根本には生きた思想が背景をなしている。そして人生をいかに生きるかの解答が含められている。こゝに世間一般の思想とは、思想そのまゝのなまものでなく、文学の形で表現された思想であることは言うまでもない。

小説を読む心は、その思想を求めることである。この意味に於て私は少し大胆な言い分だが、現代流にその人の教養を高めずにはおかない。しかも教養の究極というものはない。たゞ読書して磨きをかけることが何よりも大事である。

教　養へ達するいろいろの道のうち、最も重要の道の一つは、世界文学の研究である。過去の多くの民族の詩人や思想家の書作の中で、われわれにのこした思想や、経験や、空想や、理想などの、非常に豊富な宝と後人に残しむことである」とはヘルマン・ヘッセの言葉である。だから、よい文学に接するたびに自分の心が磨かれ、みがきのかゝつた心は、切実に之らのことを考えるして、切実に之らのことを考える

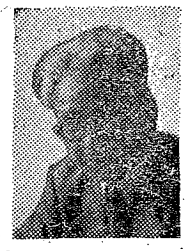


圖　書館は読書子を対手にする文化機関であり、目さきの利害関係には関係がなくとも、いかに向上する民族にとつて必要であるかは、説明するまでもない。

現在の問題に於ても、図書館が民主国家の人々の上に、又新教育の学校教育の上に、大きな責任者であり、従つてその運営にも大きな期待がかけらるべきものと信じる。「読書」を仲介としての一面に於ても、図書館と一般の人々とは、今よりももつと深く、強く、そして強く相結ばるべきものではなかろうか。本年の読書週間に際して、切実に之らのことを考えています。その間の編集者の御苦労

（筆者は県立図書館司書）

ブックガイド

―郷土の俳句誌―

「青潮」

栗栖一安

今夜は来客がしきり、失礼と思いながら妻にまかせて書斎にこもる。岩根さんがわざわざ持つて来て下さつた「青潮」十月号をひらげる。毎月の御寄贈感謝。今に俳句や和歌を趣味にやつていると考える人もあろうが「詩人は時代の冷厳なる現実を現実として己が身を以つて受取り、時代の推移の先頭に立つて生命に盛れた予言を詠ひ上げなければならないのだ。俳句は花鳥諷詠詩だなどと落ましこんでいる人達の事はいま問題にしまい」と浜江君が「生活に鋭気を」と題した文中に述べている。まことに詩人は厳しい人間修業をする哲人であり予言者であり、血みどろの生活者でなければならない。同誌の選者佐野まもる氏は、君も若いたらずやと謂警して

水脈の若にこけ落つ貧いつまで

と詠んで、きびしい人生を表現している。

山の鶯鳴く天界に身をしぼる

は主幸春冬青さんの句。まもるさんの青潮集覧書は厳切にしてしゆん厳な選評である。例えば島本さんの

渇鵜きしまくなる行方遠くもつ

若き漁夫らあて夜光虫見にゆけず

を評して、詩はいつも新鮮でなければならない。だが俗にいう新興俳句的のものが新しさの尖端だと思つていると大間違いである。深く掘り下げられた独創的なるものがほんものなのである。現代俳句とは新興的型式の詩ではない。俳句の簡潔において詩的感覚そのものである。その意味において寒久手君の作品を鑑賞すべきであろう。一直線にして素朴なる詩人の物真似をしないで常に自分の作風を作つてゆくこの人の主掬強さを私は何より注意深く見まもつているのである」と言う。以下他の人々の句に対してもその批評はきびしくまた適切である。いゝ指導者を有つている。本号は随筆特集号であつて、喜多村進氏の「島崎藤村の小机」は敬謙な文章で有難く読んだ。続いて師事した氏の描く藤村の人柄がほうふつする。さて全国に居る同人諸の力詠はそれぞれ味い深い。このようなよい俳句誌が和歌山局区内和歌浦書房の青潮社から出ていて既に第五巻第九号に達している。眞剣に俳句を勉強しようと思う人々に敢て御紹介する次第である。